

令和7年3月12日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立目黒中央中学校

校長 田原 弘一

令和6年度 目黒区立目黒中央中学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

(1) 第1回実施日時 令和6年5月9日(木) 午後3時5分～午後3時35分

- ・学校経営方針及び教育課程について
- ・教育活動の現状及び課題について

(2) 第2回実施日時 令和7年2月15日(土) 午前11時00分～午前11時30分

- ・学校評価(四者)の報告及び考察について
- ・意見交換(各評議員から)

2 参加者

- ・高木 雅 評議員(住区関係者・令和4年～)
- ・濱田 一幸 評議員(元PTA関係・令和5年～)
- ・川原 博義 評議員(教育関係者・令和5年～)
- ・降旗 淳平 評議員(福祉関係者・令和5年～)
- ・田原 弘一 校長
- ・波田野 貴之 副校長

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

| 評価項目 | ◎(成果)、●(課題)、 ⦿(成果と課題の両者を含む) | 次年度の教育活動の改善点 | 学校評価委員会での意見 (学校運営協議会での意見) |
|--|--|--|---|
| I 学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて | ◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が94%以上である。目指す学校像「魅力・活力・信頼」が評価された要因と捉える。 ●地域に本校の取組を周知すること。 | ・地域の方々に目指す学校像が伝わるように、学校だよりや学校ホームページのさらに充実させていく。 ・地域の事業所と連携することで職場体験学習をさらに充実させていく。 | ・肯定的評価が高いことは学校の先生方が頑張ってくれている証明だと思います。 ・全体的に肯定的評価が高くて良かったです。 ・働き方改革を進めても高評価を得られることは素晴らしいと思います。 |
| II 教育目標について ・教育目標、時程、教育内容全体について | ◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が91%以上である。組織的な教育活動や「学校の主役が生徒」である | ・地域の方々に目指す学校像が伝わるように、学校だよりや学校ホームページのさらに充実させていく。 | ・児童館や住区で頑張っている生徒がいて嬉しいです。 ・地域には引き続き情報発信をしてください。 |

| | | | |
|--|--|---|---|
| | <p>ことが評価された要因と捉える。</p> <p>●地域に本校の取組を周知すること。</p> | | |
| <p>Ⅲ 心の教育について</p> <p>・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について</p> | <p>◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が91%以上である。「人との関わり」を意識した人権教育の推進が評価された要因と捉える。</p> | <p>・道徳授業の充実のために学年ローテーションをさらに進めていく。</p> <p>・セーフティー教室の参観を広く周知して、家庭や地域に本校の取組を理解していただく。</p> | <p>・普通に学校生活が送れていることは幸せなことだと思います。</p> |
| <p>Ⅳ 学習指導等について</p> <p>・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、少人数指導、〇〇タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について</p> <p>・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について</p> | <p>◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が87%以上である。学習用情報端末を活用して、「生徒が主体的・対話的に学べる学習環境」の充実に努めたことが要因と捉える。</p> | <p>・「生徒が待ち望む授業の確立」を進めて、教師の授業力向上に努めていく。</p> <p>・自然宿泊体験教室、職場体験学習、進路学習など、各学年で実施しているキャリア教育を体系的・系統的な指導になるように充実させていく。</p> | <p>・生徒の集中力や意欲を高める工夫を引き続きよろしくをお願いします。</p> <p>・学習用情報端末やスマートフォンの管理が大変だと思います。</p> |
| <p>Ⅴ 体育・健康教育について</p> <p>・体力向上、健康の促進に向けた取組について</p> | <p>◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が85%以上である。「生徒が主役」の体育祭や区連体の取組や、養護教諭や栄養士と連携した教育活動が評価されたことが要因と捉える。</p> | <p>・生徒の活動の様子をICT 機器を活用してさらに周知していく。</p> <p>・生徒が中心となる健康教育や食育の場をさらに充実させていく。</p> | <p>・体力向上に向けた取組を引き続きよろしくをお願いします。</p> |
| <p>Ⅵ 特別活動について</p> <p>・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて</p> | <p>◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が89%以上である。「生徒が主役」の体育祭や合唱コンクール、部活動の取組が評価された要因と捉える。</p> | <p>・生徒の活動の様子をICT 機器を活用してさらに周知していく。</p> | <p>・他の人との関わりや我慢することなど、学校でこそ学べることを大切にしてください。</p> |

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>Ⅶ 学校生活全般について</p> <p>＜生活指導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて | <p>◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が83%以上である。「礼儀、挨拶、時間」を軸とした生活指導が評価された要因と捉える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会において「礼儀、挨拶、時間」に基づいた本校の生活指導の方針を伝えていく。 ・特別支援教室及び別室指導をさらに充実させていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒センター方式の定着により、生徒が落ち着いているように思います。 ・登下校時の生徒は礼儀正しく感じます。 |
| <p>＜防災教育・安全指導＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて | <p>◎保護者・生徒・教職員の肯定的評価の平均が83%以上である。これまでの毎月の安全指導や防災訓練の内容を見直したことが評価された要因と捉える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・C4th Home & School（保護者専用アプリ）を活用して、生徒が取り組んだ防災教育や安全指導を配信していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・他と比べて肯定的評価が下がっていることが気になります。今回の評価の要因を突き止めて学校教育に活かしてください。 ・校区が広いので暗い時間帯の帰り道が心配です。 |
| <p>＜幼・保・小・中連携＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について | <p>◎保護者・教職員の肯定的評価の平均が85%以上である。年3回の小・中連携の日、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議が評価されたことが要因と捉える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・関係小学校との授業研究や教員派遣などをおして、小中連携をさらに充実させていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・先生だけでなく児童や生徒同士の授業の連携に取り組もうとしていることが素晴らしいと思います。 |
| <p>Ⅷ 情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信の充実について | <p>◎保護者・教職員の肯定的評価の平均が93%以上である。学校ホームページ、C4th Home & School（保護者専用アプリ）、学校だより、学年だよりを活用したことが評価された要因と捉える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議委員会、学校公開、ホームページ、C4th Home & School（保護者専用アプリ）、学校だよりを活用して、学校の情報を可能な限り公開し風通しのよい学校づくりを続ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き情報発信をしてください。 |
| <p>Ⅸ 教員の人材育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について | <p>◎教職員の肯定的評価が96%以上である。教諭、主任教諭、主幹教諭がそれぞれの職責を自覚して校務に取り組んだことが評価された要因と捉える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・校長、副校長、主幹教諭と軸として組織的な教育活動をさらに進めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き教員の人材育成をよろしく願います。 |

| | | | |
|--|---|--|--|
| <p>X 教員の働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について | <p>◎教職員の肯定的評価79%以上である。教員の時間外在校時間が年度当初から減ってきていることが評価された要因と捉える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人が「ノー残業デー」の設定と実践を図っていく。 ・校務の「共働と共助」を進めて、個人の負担感を減らしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方は愛情があると思います。今後も働き方改革を進めながらも生徒と関わる時間を大切にしてください。 |
| <p>XI 服務事故の防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服務事故防止に向けた取組などについて | <p>◎教職員の肯定的評価100%である。定期的な服務事故未然防止研修に加え、朝の朝礼時の取組が評価された要因と捉える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き服務事故未然防止研修を定期的に実施して、「服務の厳正」に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、服務事故の防止に努めてください。 |